

令和2年度事業報告

社会福祉法人 信楽福祉会

社会福祉事業

(1) 第1種社会福祉事業

特別養護老人ホーム「信楽荘」

小規模特養	30名
ユニット型特養	60名

(2) 第2種社会福祉事業

(イ) 老人デイサービス事業 「信楽荘デイサービスセンター」

通常型通所介護 定員 35名
(月～金曜日)

(ロ) 老人短期入所事業 「信楽荘ショートステイサービス」

定員 15名

(ハ) 認知症対応型共同生活介護 グループホーム笑楽

2ユニット18名

公益事業

(1) 信楽荘居宅介護センター

令和2年度 社会福祉法人 信楽福祉会 事業報告

基本理念

1. 誰もが住み慣れた地域の中で、安全かつ安心して普段と変わらない、その人らしい生活が続けられるような憩いの場を提供します。
2. 家族や地域の方々にサポートしていただきながら、ご利用者の立場にたち、プライバシーや基本的人権を配慮しながら、その人らしい自律した社会生活が送れるよう温かいサービスの提供を目指します。

信楽荘

「信楽荘 理念」

Welfare しがらき 共に笑い 伴に生きる

「信楽荘 職員の心構え」

- 一. 私たちは、「思いやりのある」「温かい心」で介護に努めます。
 - 一. 私たちは、「謙虚な姿勢」で「誠意ある質の高いサービス」に努めます。
 - 一. 私たちは、「専門職」として「技術の向上」をめざし最善を尽くします。
 - 一. 私たちは、「愛され」「親しまれ」「信頼されている」施設をめざします。
- 基本的理念を達成するため「信楽荘職員の心構え」を全員が周知徹底し、職員のモラルの向上を図りご利用者へのサービス向上に努めました。

従来型小規模特養 ふらわぁ 30床

入居者が一日一日を笑顔で過ごせるよう個人が持っている「こだわり」を大切に、その人らしく暮らせるような支援に努めてきました。

長年されてきた家事などが、施設の中でも出来るだけ行えるよう役割を持ち、生き生きと生活が出来るよう支援してきました。出来ること探しを行いアプローチしていくことで、ご自分の日課もでき、互いに相談し助け合いながら生活ができるようになりました。

コロナ禍で外に出ることが困難な中で、施設内やベランダの散歩などをしていただき、できるだけ外気に触れる機会を作りました。

ユニット内での食事作りの行事では、皆で協力しながら楽しむことができ笑顔も増えました。

職員については、定例会議で随時今の課題について話し合いながら、統一したケアができるよう努めてきました。又定期的な面談を行いながら職員の心のケアにも努めてきました。看取り後の退所の際には、メルタス会議室を活用し、ケアの振り返りを行うとともに、職員の気持ちの整理を行ってきました。

短期入所生活介護（ショートステイ） たんぽぽ 15床

緊急の依頼や長期利用の依頼に対して出来る限りの受け入れをしました。

ショートステイを契約する時には、施設内の環境を直接見てもらい、納得して利用して頂けるよう丁寧な説明を心がけました。

居室環境については、センサーの必要性、ベッド柵の種類、ベッドの向き、転落予防策を定例会議にて検討し見直しました。

日中の活動としては、塗り絵や編み物など得意なこと、好きなことが出来る限り継続出来るよう関わりました。

又ユニット費を利用して、食事会やお茶会を行い楽しみの提供に努めました。

必要と思われる新型コロナ感染予防を行い、サービスの提供維持に務めました。

ユニット型特養 煌き 20床

「ここに居て良かった」をコンセプトに、健康と安心感に満ちた心温まる日々を提供出来るよう努力してきました。一人一人の可能性を信じ、生活意欲が高まるよう図り、入居者、家族、職員が共に歩んでいけるよう最善を尽くし信楽荘理念及び心構えに則って生活サポートをおこないました。その中で生活のマンネリ化を避け、その時間（とき）今の時間を大切にして「ここに居てよかった」と思えるような計画を実行しました。

季節に合った企画を行い、お誕生日のお祝いなど、一人ひとりの好みに沿った支援計画を実施しました。

職員にとっては、定期的な内部研修・定例会議・介護福祉士取得のための実務者研修参加・勉強会実施など個々の職員能力を存分に発揮し、持つ能力が決して無駄にならないように取り組みました。

ユニット型特養 大樹 20床

ユニット大樹の令和2年の目標としていた「自己主張できる環境」につきましては、入居者から職員を必要とし求めてもらえるよう日々心がけて参りました。

意思疎通の可能な入居者は職員に対し自分の訴えや要望を言え実行する取り組みを行い各入居者の想いや要望を聞くことでサービスの向上に繋がった。生活の中に於いて入居者が孤独感や不利の状態にならないよう配慮できた。

各職員の得意分野の長所を活かした組織作りに取り組み新発見や向上に繋げることができた。

入居者とご家族の距離が遠くならないよう定期的に電話などで連絡をとり入居者にはご家族といつまでも繋がっていることを実感してもらうことができた。

職員間では想いやりを第一に掲げ相談、協力を中心に強化することができた。

常に入居者様やご家族の立場になり個人の尊厳や個性に配慮したサービスが提供できるようサービスの検討家族対応のあり方を検討し改善を図ることができた。

安全管理の取組としては事故防止委員会を中心に分析や評価を行い防止に努めましたが事故件数が増加しました。原因としてはリスクマネジメント不足や情報共有などが要因と考えます。今後も個人の尊厳を守りながらリスク管理を強化し事故防止に努めていきます。

・内部研修

新型コロナウイルス拡大のため施設内研修はオンライン研修のみとなる。

ユニット内では随時、当日の出勤者のみでの研修を行った。

ユニット特養 青空 20床

「家のように、その人らしく」を目標に掲げてきました。家のように過ごせていただけたかはわかりませんが、帰宅願望の強い方に対して、職員全員が知恵を出し合いどのような対応がご本人さんにとって幸せかを考えました。

現在は以前に比べ落ち着いて毎日を過ごしてくれています。

青空ユニットで希望される最期を迎えられた方は2名です。2名の方は新館創設時から入居されていた方でした。一緒に過ごした入居者や職員と、家族に見守られ最期をその人らしく迎えられたのではないかと思います。

新型コロナウイルスの影響で外出がほとんど出来ませんでしたが、ユニット内での行事は例年より沢山実施ができ、閉鎖された環境の中で季節を少しでも感じていただけたように思います。

職員にとっては、研修も減り月に一度のユニット会議も感染拡大防止のため、リーダーからの発信のみとなりました。「

グループホーム笑楽 2ユニット 18床

今年度は、看取り中の入居者1名がお亡くなりになりました。

5月に新しく1名が入居され満床です。

今年度は、インフルエンザやコロナウイルスの感染者はありませんでした。感染拡大防止のために信楽荘の年間行事や地域の行事などが全て中止となりました。その中で畑仕事やおやつ作り、焼き芋大会をユニット内で楽しみ、暗いニュースが多い中ユニット内は、笑い声が響きました。

11月には、介護福祉士会による外部評価を受け、大変良い評価を頂きました。

地域運営推進会議に於きましては、コロナ禍で書面での報告となりました。

通所介護（デイサービス）30人

デイサービスセンターでは、信楽荘理念・信楽荘職員の心構え、デイサービス基本方針をもとに、利用者個々のケアプランに基づいた活動を通し、職員と共に楽しみ、居心地の良い場所・寄り添ったケア・社会的孤立感の解消及び心身・機能の維持向上に努めてまいりました。

今年度は、新型コロナの影響で感染対策に努めマスク着用や密の回避についても利用者さんや家族さんにご理解とご協力をいただきました。信楽町内の状況は、重度の方の入院や施設入所が多くあり、今年度の利用者数は1日24名と厳しい結果となりました。

職員におきましては、感染症対策・暑さに負けない身体づくり・虐待研修・人権研修などの勉強会を開き職員の質の向上にも努めました。

また、季節に合わせた作品作りでは、認知症のある利用者の隠れた能力と笑顔を引出すことができました。

居宅介護支援事業

在宅高齢者の方々に対し、様々なニーズに答えるべく各関係機関やインフォーマルサービス及び地域住民の方々との連携が昨年度よりも、効果的に出来ました。居宅に所属しているケアマネージャーも今年度は5名体制になってから2年目となり、ケアマネジメントも充実し、利用者様やその御家族との関係づくりもスムーズにできるようになってきました。事業所及び地域連携についても、昨年同様に民生委員の方々と共に交流会を図る事ができ、困難ケースにおいても地域や事業所とも上手く連携する事ができました。更に病院とのつながりについては医療連携情報により、以前よりは安心して自宅に帰って頂ける様な環境作りができました。

「包括ケアネットワークしがらき」発足から5年、地域の事業所同士の顔の見える関係から、次の段階（より密な連携とスムーズな進行）に進み、大きな進歩であると考えます。次年度への課題として、医療連携での活動をもっと自ら地域に出向いて地域住民の方々に啓発していく事であると考えます。

利用者様のニーズを把握する点については、より深く関わりご本人様のニーズを把握する事ができたように思われます。しかし、年々困難ケースが増加すると共に複雑化している事で、ケアマネージャーの負担も大きくなりつつあるが、ケアマネジメントの技術の向上と経験から、困難ケースへの関わり方もあまり困惑する事もなく、部署内で支え合いができるようになってきました。令和2年1月より、新型コロナウイルスの関係で、感染拡大を防ぐために、テレワークを取り入れる様になり、感染予防に努めています。今後の社会において多様な働き方が出て来ると思われ、居宅としては良いきっかけになったと考えます。

今年度も、信楽福祉会職員の一員として、信頼と迅速な対応を意識して1年を過ごせたと思えます。

栄養調理管理課

利用者、個々の状態に合わせた食形態を考慮し日々安全、安心な食事の提供を行うことができた。美味しく食していただきたい、食すことを楽しみにしていただき家庭の味を感じていただきたいという思いから職員全員が考え提供してきた。日々のラウンドを通じ利用者の様子を観察し意見を聞くことにより食事が適切に提供できているのか考察した。今後も

ラウンドを通じ利用者から料理の味について聞き、調理に生かしていきたい。また嗜好調査を実施していくことが課題として残る。

また、コロナ禍で行事食として活動できない中、厨房職員が各ユニットで春には握り寿司会を行い初めてオーダー制の寿司会を行い通常の給食提供ではできない体験をしていただいた。秋には松茸づくしと題し昼食時に提供した。松茸を見ること、手で触れて楽しむ利用者もおられ焼き松茸、松茸ご飯、お吸い物を提供しベランダで焼ける松茸の香りを楽しみ、利用者の食に対する意欲や笑顔を感じることができた。冬にはクリスマス献立、餅つき会を行いふれあいサロンで利用者の参加のもとお餅つきを行えた。正月には個人のおせち料理の提供を行い視覚からも楽しめる提供が行なえ大変好評だった。また、敬老の日、お正月、ひな祭りなどに行事にちなんだカードやプレートを添えメッセージを届けることができた。一年を通し利用者の食する姿を拝見することのできた年となり厨房スタッフも力をいだけた一年となった。

前年は各ユニットで喫茶を行っていたが気分転換を図っていただきたいという思いから今年度は開催場所を会議室、気候の良いときは外で、またふれあいサロンでと変更し行った。ユニットを離れおやつの時間を違う場所で過ごせるカフェと位置づけたことは違う雰囲気味わい気分を変える時間となったのではないかと考える。

また、おやつの提供は毎日の楽しみとしていただくこともできたと感じている。食事だけでなくおやつにおいても利用者の状態に合わせた形態を考慮し摂取していただきやすく考え提供できたと考える。

衛生部門においては職員それぞれが衛生管理を第一に考え食事提供に従事できた。安全、安心な食事提供に繋がれたと考える。食事を通し利用者と共に楽しめる時間を持てたことは職員の向上心に繋がった。

4.5月 にぎり寿司会

7月 七夕献立 七夕ちらし 天の川ゼリー

9月 防災食の献立 カップラーメン、おにぎり

敬老の日献立 栗ご飯 天ぷら ゆずゼリー すまし汁

10月 松茸づくし 松茸ご飯(松茸雑炊) 焼き松茸 吸い物

ハロウィン・・・マカロン

12月 クリスマス献立・・・ローストチキン、クリスマスケーキ

1月 おせち料理・・・おせち詰め合わせ、鯛のじょうよ蒸し、お雑煮、紅白饅頭(紅白ゼリー)

2月 節分献立・・・巻きずし、鬼カップケーキ、ムース

バレンタインデー・・・チョコレートブラウニー

3月 ひな祭り献立・・・ちらし寿司、三色ロールケーキ

看護課

入居者がその人らしく健康で楽しく暮らせるよう、日常の観察・情報収集・情報共有を行い、疾病の早期発見に努めました。急変時の迅速な判断・対応や日々の適切な処置を行い、医療機関との連携に努めました。

1. 入居者の日常の観察・情報収集・情報の共有を行い、疾病の早期発見に努める。
※毎朝、申し送り、伝達と情報を共有するよう努めた。
2. 必要に応じた病院受診と、入院に関わる情報提供を行う。
※R. 2. 4. 1. ～R3. 3. 31 までのべ外来受診人数【195名】
※R. 2. 4. 1. ～R3. 3. 31 までのべ入院人数【44名】
3. 急変時の迅速な対応や日々の適切な処置を行い、医療機関との連携に努める。
※ 救急車要請あり
※ 褥瘡交換【のべ5名】
※ ノロウイルス感染者 0名
※ インフルエンザ感染者 0名
※ 疥癬感染者 0名
※ コロナ感染者 0名
※ 日々の軟膏処置（フロア毎に）
※ インシュリン注射3名+ショート利用者インシュリン注射4名実施
4. 入居者及び職員の健康管理を行う。

利用者に関して

- ※健康診断の実施【7/7 86名実施】
健康診断の計画・問診票の記入・当日の補助に就いた結果は嘱託医に報告、必要な精密検査に繋がった
- ※インフルエンザ予防注射の計画と実施
11/2 から4週連続で実施
問診票の記入、フロア毎に嘱託医に回ってもらい実施
- ※ワクチンの計画と実施
肺炎球菌ワクチンの実施【5名】
水痘ワセリンの実施【0名】
- ※1回/Wの回診で計画的に15名～20名ずつ診察
【回診49回/年】
診療の介助や利用者の送迎実施
家人へのムンテラ実施

職員に関して

- ※インフルエンザ予防注射の計画と実施
・感染対策（手洗い・うがい・退勤前の更衣）の啓蒙

- ・マスク着用を奨励
- 5. 入居者及びショートステイ者の内服・外用薬管理を行う。
※入居者 108 名・ショートステイ最大 15 名の薬の管理をした
 - ・週一回の定期薬整理→フロア毎に 1 ヶ月分ずつ整理
 - ・ショートステイ利用者の内服・外用薬の管理及び処置
- 6. 入居者・職員への感染対策・事故防止対策と指導を随時行っていく。
日々のケア中の指導
 - ・褥瘡、皮膚疾患、尿路感染予防等の指導
 - ・食事摂取の安全な体位と介助時のアドバイス
- 7. カンファレンスや委員会への参加
※カンファレンスはほぼ参加出来た
- 8. 医療、看護に関する職員のスキルアップ
※施設内職員研修会への参加 (Web)
※施設外研修は本年度参加なし。
- 9. 家族、他職種と連携を密にし、ターミナルケアの充実を目指す
※現在 7 名の看取りの利用者がおられる。

防火・防災対策

防災委員会として、地震・火災・水害による避難訓練を行うと共に、いざという時の為に、非常用防災倉庫を設置し、非常時に数日間持ちこたえる事が出来るように必要な備品（食料品・医療・生活用品等）を用意する事ができました。

更に、今まで避難訓練の際に、防災委員だけが中心になって、利用者の避難にあたっている状況で職員に非常時の対応をどうするのか、何をすればよいのか解らない職員が多数いる点が大きな課題であった。そこで、避難訓練時には、現場職員が中心となって避難訓練を実施する事とし、自分が利用者を守らなければいけないという意識を強く持って頂く事が徐々にではあるが浸透し職員の向き合い方が変わってきた。

自然災害並びにコロナウイルス感染症に対する BCP の作成がなかなか進まなかったのが今後の課題である。

施設管理の取り組み・企画室

今年度、信楽荘企画室では、下記の取り組みを実施しました。

- ・ 企画室会議（9 回開催）
 - 6/1、8/3、9/1、10/1、11/2、12/1、2/10、3/9
 - ◇ 4、5、7、1 月は中止（コロナ対策等）している。

① 昨年度からの継続案件

- 理念浸透の取り組み
 - 名刺新デザイン完成
 - ◇ 運用中。
- 信楽荘のフェイスブック
 - 継続中。
- パンフレットリニューアル
- 車椅子管理
- 社内 SNS について
 - GoogleSuite の活用が社内で増大している。
 - LINE のリスク対策として、WhatsApp を一部運用中。
 - Zoom での研修参加や会議も慣れてきた。図書室を活用できている。
- 社内旅行について
 - 旅行積立のみ継続中。
- 信楽荘における災害対策について
 - 災害対策チーム稼働中。
- 信楽荘 S-1 (スマイルワン) グランプリ (第 3 回)
 - 広報委員会主体で開催中、今季は利用者さんによる投票となった。

② 今年度からの新規案件

- 信楽荘における委員会、チーム等の役割の明確化や整理。
 - 検討中
- 職員会議の見直しについて
 - 検討中。職員会議は現在開催していない。
- フットサルチームを作る。
 - コロナ発生後自粛中。
- その他、企画室メンバー以外から提案のあった企画。
 - 企画室以外から職場を元気にする企画が出てくることは本来望むべき姿である。企画室としては積極的に応援していく。
 - ◇ おひさまカフェ
 - ✓ コロナ対策をしながら継続中。
 - ◇ よさこいチーム。
 - ✓ コロナ禍で休止中。

アクティビティプログラム、慰問、外出等

煌 き	令和2年4月5日	桜ドライブ（水口）
	6月1日	甲賀市ドライブ（信楽）
	7月26日	焼肉会
	9月27日	ユニット敬老会（ケーキ作り・落語）
	10月24日	きらめき運動会
	26日	ユニット餅会
	11月15日	紅葉ドライブ（Dr オススメ）
	17日	紅葉ドライブ+ユニットは赤飯食べよう会
	18日	甲賀市ドライブ
	22日	紅葉ドライブ
	12月23日	クリスマス会
	令和3年1月18日	ちゃんこ会
	2月26日	おやつ作り
	3月27日	オムライス作り

青 空	令和2年4月11日	花見ドライブ
	5月24日	水羊羹づくり
	6月21日	焼肉会
	7月6日	ホットケーキ作り
	8月20日	流しそうめん会・納涼祭・花火大会
	9月17日	ドライブ（信楽町内）
	20日	ピクニック（施設内）
	10月29日	ドライブ（信楽町内）午前午後に分けて2回実施
	11月25日	ドライブ・ピクニック（マキノ町）
	12月26日	クリスマス忘年会
	令和3年2月1日	すき焼き会・節分豆まき
	3月12日	ちらし寿司会
	随時	外食・外出・誕生日プレゼント贈呈など

大 樹	令和2年3月22日	お誕生日会
	4月5日	<桜散策>ドライブ
	15日	握り寿司大会
	19日	お誕生日会
	5月10日	<母の日>カーネーションのプレゼント
	18日	厨房の喫茶会
	26日	お誕生日会
	6月21日	<父の日>メロンでフルーツポンチ
	7月7日	七夕祭り
	19日	わらび餅
	24日	流しそうめん大会
	8月27日	<夏祭り>スイカ割りゲーム
	9月5日	避難訓練
	13日	すき焼き焼大会
	27日	外庭でおやつ・お茶会
	10月3日	松茸祭り・サンマ
	25日	回転寿司
	11月13日	おひさまカフェ
	18日	外ドライブ
	24日	お誕生日会
	12月20日	餅つき大会
	26日	クリスマス忘年会
	1月1日	おせち料理
	6日	お茶会
	30日	お誕生日会
	2月2日	節分豆まき
	14日	お誕生日会
	3月20日	お彼岸おはぎ
	28日	居酒屋

施 設 介 護 課	令和2年4月13日	寿司会
	5月12日	焼き肉会
	6月5日	お好み焼き会
	24日	利用者様お墓参り
	7月20日	ばら寿司作り
	8月24日	ユニット内花火大会
	9月23日	おはぎ作り
	10月3日	松茸会
	16日	居酒屋
	20日	紅葉ドライブ
	11月29日	焼き芋会
	12月20日	餅つき
	22日	クリスマス忘年会
	令和3年1月22日	新年お好み焼き会
	2月2日	巻きずし作り
	18日	バレンタインチョコレート作り
	3月22日	ちらし寿司作り

令和2年度 事業別実績報告

特別養護老人ホーム 信楽荘

令和3年6月5日

1、総括

2、年間入所(利用)者数 (R2.4.1~R3.3.31)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別													
延人数	3,041	3,132	3,002	3,137	3,169	3,125	3,215	3,175	3,235	3,158	2,862	3,112	37,363
利用人数	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	1,296
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	101.4	101.0	100.1	101.2	102.2	104.2	103.7	105.8	104.4	101.9	98.7	100.4	102.1
入所者数	2	3	2	1	4	3	2	3	1	0	2	2	25
退所者数	5	0	3	1	2	1	3	1	2	1	3	4	26
入院者数	27	72	73	33	53	72	86	50	104	146	94	109	919
1日当り平均人員	0.9	2.3	2.4	1.1	1.7	2.4	2.8	1.7	3.4	4.7	3.2	3.5	2.5

3、信楽荘施設全体職種別職員数 (R3年3月31日現在)

職種 形態	施設長 管理者	副施設長	事務長	課長	管理職 合計	総務 事務	介護支援 専門員	生活 相談員	看護師 機能訓練指 導員	介護員	管理 栄養士	調理員	業務員	職員 合計
	施設全体(SS含)	1	1	1	3 (兼務)	6	6	2	2	4 (1人兼務)	41	1	6	
パート									4 (1人兼務)	21		2	3	30
デイサービス	1 (兼務)			1 (兼務)	1			1	2 (1人兼務)	6				7
パート										2			4	6
グループホーム	1 (兼務)				1					8				8
パート							1			7				8
居宅支援	1 (兼務)			1 (兼務)	1		4 (1人兼務)							0
パート							1							1
合計	4	1	1	7	13	6	4	3	0	85	1	8	7	122

4、年間行事实施内容

別紙の通り

5、各種職員研修および会議、介護体験・ヘルパー・介護福祉士養成学校実習受入、

施設交流訪問、各種慰問等ボランティア、各種奉仕、荘内会議・委員会、

別紙の通り

6、その他

令和2年度 事業別実績報告

1、小規模特養(従来型多床室) [定員:30名]

令和3年6月5日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
延べ人員	831	797	759	803	823	858	902	897	956	919	808	876	10,229
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	27.7	25.7	25.3	25.9	26.5	28.6	29.1	29.9	30.8	29.6	27.9	28.3	27.9
稼働率(%)	92.3	85.7	84.3	86.3	88.5	95.3	97.0	99.7	102.8	98.8	92.9	94.2	93.2
利用金額(万円)	1,057	1,069	994	1,059	1,086	1,121	1,213	1,166	1,242	1,187	1,040	1,136	13,369

2、ユニット型特養 [定員:60名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
延べ人員	1,695	1,777	1,703	1,776	1,788	1,727	1,755	1,738	1,723	1,689	1,567	1,678	20,616
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	56.5	57.3	56.8	57.3	57.7	57.6	56.6	57.9	55.6	54.5	54.0	54.1	56.3
稼働率(%)	94.2	95.5	94.6	95.5	96.1	95.9	94.4	96.6	92.6	90.8	90.1	90.2	93.9
利用金額(万円)	2,448	2,580	2,461	2,552	2,580	2,487	2,551	2,503	2,496	2,447	2,248	2,496	29,832

2、ショートステイ [定員:15名]

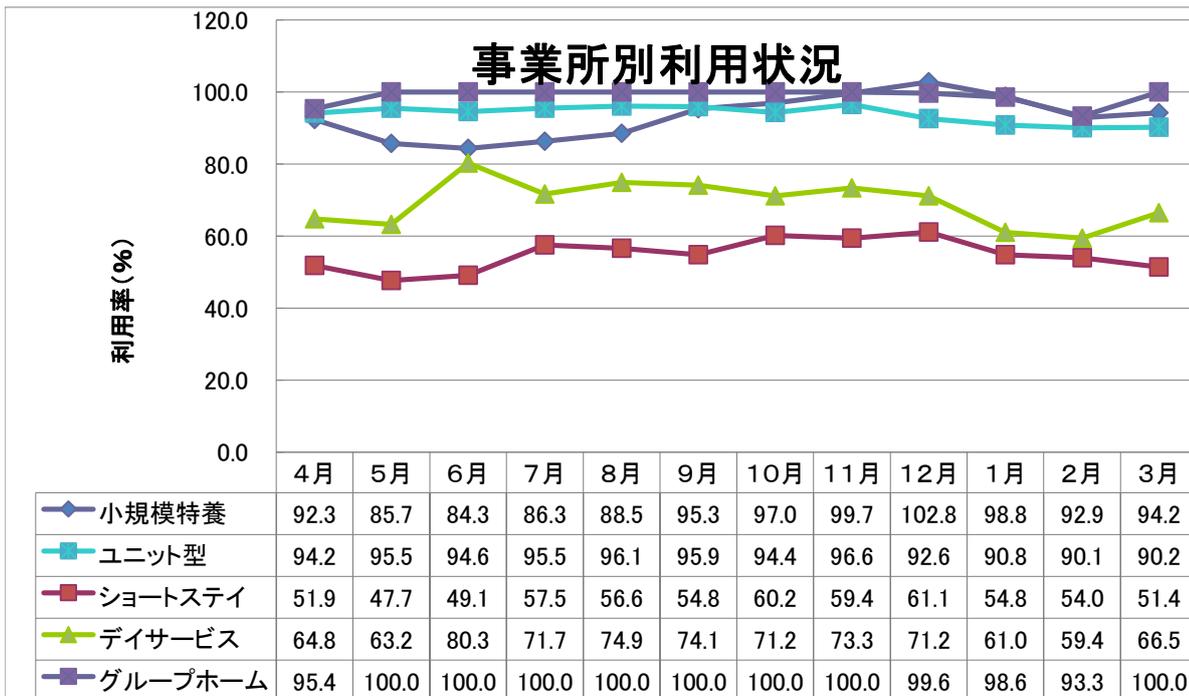
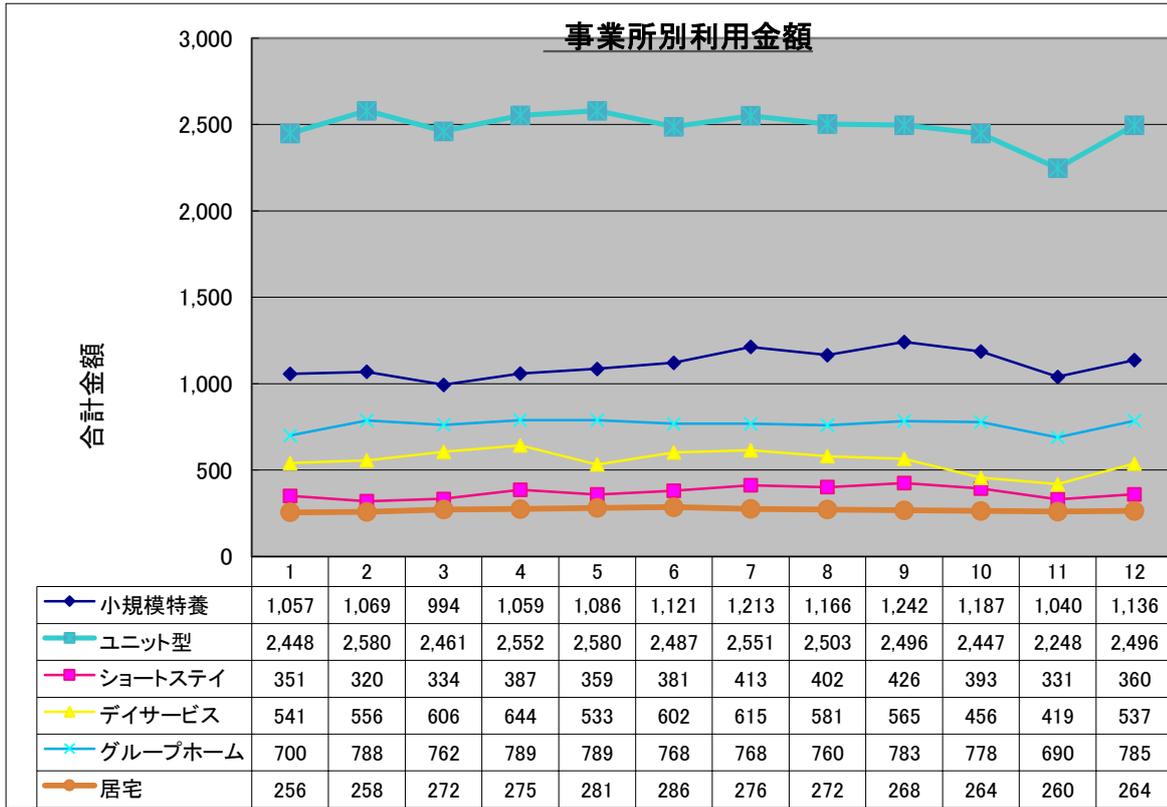
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人員	280	266	265	321	316	296	336	321	341	306	272	287	3,607
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	9.3	8.6	8.8	10.4	10.2	9.9	10.8	10.7	11.0	9.9	9.7	9.3	9.9
稼働率(%)	51.9	47.7	49.1	57.5	56.6	54.8	60.2	59.4	61.1	54.8	54.0	51.4	54.9
利用金額(万円)	351	320	334	387	359	381	413	402	426	393	331	360	4,462

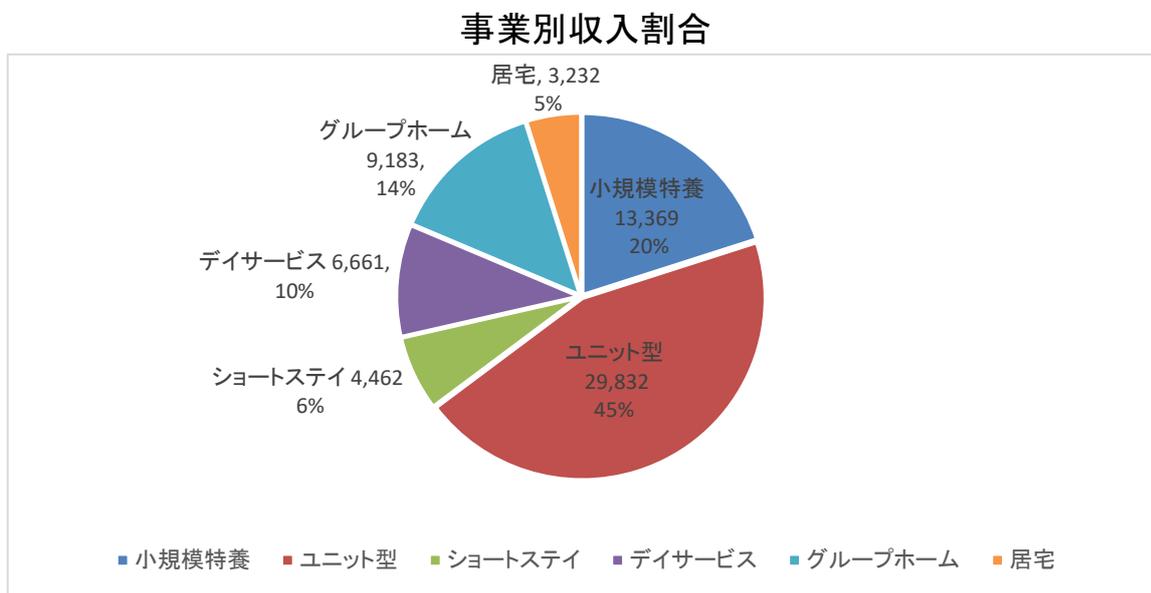
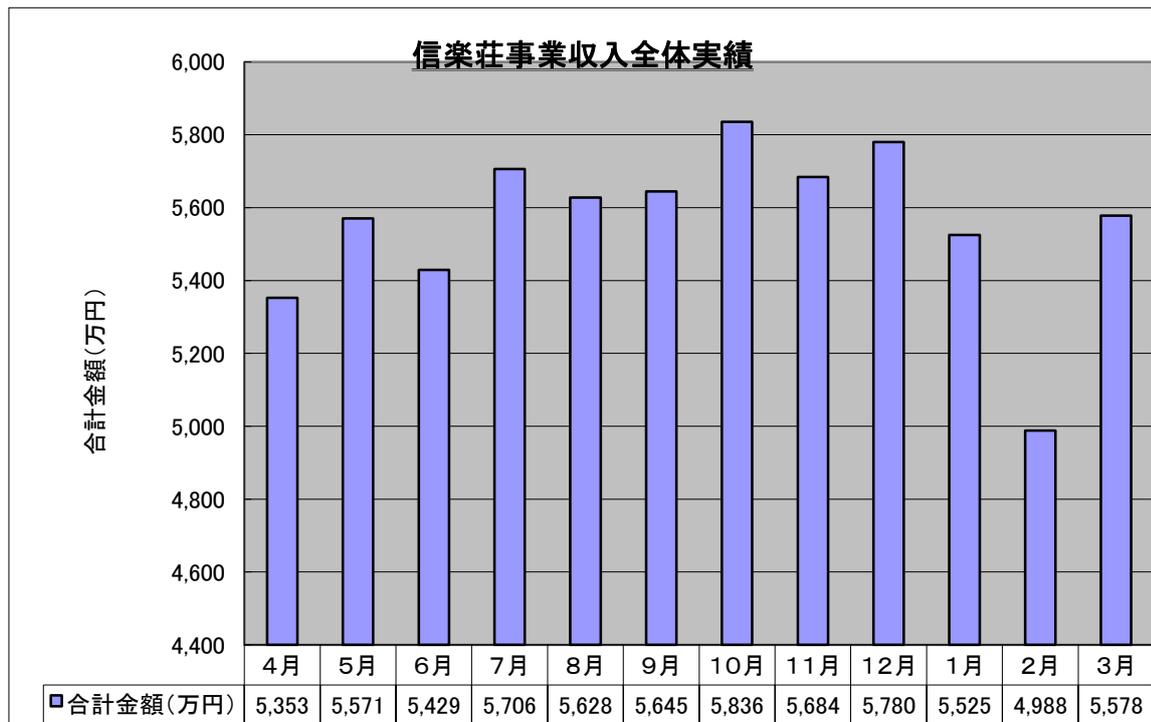
3、デイサービス(通常型) [定員:35名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人員	499	509	562	577	577	545	573	539	523	427	416	512	6,259
当月日数	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	22	258
1日当り平均人員	22.7	22.1	28.1	25.1	26.2	26.0	24.9	25.7	24.9	21.4	20.8	23.3	24.3
稼働率(%)	64.8	63.2	80.3	71.7	74.9	74.1	71.2	73.3	71.2	61.0	59.4	66.5	69.3
利用金額(万円)	541	556	606	644	533	602	615	581	565	456	419	537	6,661

4、グループホーム [定員:18名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
延べ人員	515	558	540	558	558	540	558	540	556	550	487	558	6,518
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
1日当り平均人員	17.2	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	17.9	17.7	16.8	18.0	17.8
稼働率(%)	95.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.6	98.6	93.3	100.0	98.9
利用金額(万円)	700	788	762	789	789	768	768	760	783	778	690	785	9,183





信楽荘 令和3年度 職員研修・会議・内部研修実施計画

月	内 容
4月	施設内新任職員研修 * 倫理・接遇・認知症研修・コミュニケーションに関する研修
5月	介護福祉士基本研修・介護職員チームリーダー養成研修
6月	経営協総会・セミナー、同青年部会、ステップⅡ研修、ステップⅢ研修、認知症介護実践者研修、施設内職員研修、介護支援専門員初任者研修 *内部研修 虐待予防研修1回目・防災委員会・避難訓練
7月	認知症介護実践者研修、同リーダー研修、ファーストステップ研修、県民間社会福祉事業共済会事務説明会、近老協・研究大会、管理者研修 *内部研修 人権研修1回目 褥瘡防止
8月	福祉サービス苦情解決研修会、認知症介護実践者研修会、看護職員研修会、ステップⅠステップⅡⅢ研修、介護支援専門員研修、認知症リーダー研修、ファーストステップ研修、 *内部研修 事故防止危険予知研修・身体拘束
9月	ファーストステップ研修、介護実践リーダー研修、身体拘束廃止に向けた推進員養成研修、実習指導者講習会、感染管理スキルアップ研修、認知症研修、ファーストⅢ研修、 *内部研修 人権研修2回目・感染予防研修
10月	高齢者虐待防止研修、感染対策研修会、看護職員研修、ステップⅡ、Ⅲ研修、介護支援専門員実務従事者基礎過程研修 *内部研修 リスクマネジメント研修
11月	源泉所得税の年末調整説明会、企業、事業所対象人権研修会、スーパービジョン研修会、認知症介護実践者研修会、介護支援専門員実務従事者基礎過程研修 *内部研修 健康管理研修(感染対策、職員の健康増進に向けて)
12月	介護、看護専門職の為のターミナルケア研修、認知症介護リーダー研修、身体拘束ゼロセミナー、ファーストステップ研修、認知症介護の新任職員研修 *内部研修 介護技術研修・虐待研修2回目
1月	ファーストステップ研修、介護支援専門員研修、滋老協職員研修、甲賀市企人協・研修会 *内部研修 普通救命講習・看取り研修
2月	職場内研修、近老協・認知症ケアセミナー、福祉サービス苦情解決研修 *内部研修 介護技術研修・防災委員会

3月

県退職共済会実務研修、理事会・評議員会、
※内部研修 身体拘束、事故防止研修